



平成 23 年 5 月 20 日

各 位

会 社 名 旭 テ ッ ク 株 式 会 社
 代 表 者 名 代 表 執 行 役 社 長 入 交 昭 一 郎
 (コード : 5606 東 証 第 1 部)
 問 合 せ 先 経 理 部 長 古 橋 恵 介
 (TEL. 0537-36-3103)

業績予想との差異及び特別利益・特別損失の計上に関するお知らせ

平成 22 年 11 月 12 日に公表しました平成 23 年 3 月期通期業績予想と、本日公表しました通期実績において、下記の差異が発生しましたこと、及び平成 23 年 3 月期第 4 四半期における特別利益・特別損失の計上について、お知らせいたします。

記

1. 平成 23 年 3 月期通期予想との差異 (平成 22 年 4 月 1 日 ~ 平成 23 年 3 月 31 日)

連結業績予想との差異

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 74,000	百万円 2,350	百万円 1,650	百万円 50	円 銭 0.16
実績 (B)	73,022	2,337	1,766	155	0.07
増減額 (B - A)	978	17	116	105	
増減率 (%)	1.3	0.6	7.0	210.0	
(ご参考)前期実績 (平成 22 年 3 月期)	58,241	121	392	421	1.63

2. 差異の理由

第 3 四半期以降の乗用車の補助金終了の反動や円高による輸出需要の減少及び東日本大震災による客先の生産停止や低操業の影響を受け、売上高は減少しました。売上高の減少により営業利益は減少しましたが、一方で震災の影響に伴う異常操業度に係る価値の減少を特別損失として計上したこと、及びリファイナンスに伴う一時費用のうち金融手数料を借入期間に渡って計上することとしましたので、営業利益は微減となり、経常利益及び当期純利益は前回発表予想を上回りました。

3. 特別利益及び特別損失の計上

平成 23 年 3 月期第 4 四半期の特別利益において、連結子会社豊栄工業(株)の固定資産売却益 2 億 57 百万円を計上しております。また、特別損失において、米国 Pension Benefit Guaranty Corporation

からの提訴に関連する弁護士費用 1 億 94 百万円を訴訟関連費用として、震災の影響により発生した通常操業度を下回る非原価相当額 2 億 98 百万円を操業度差異として計上しております。

以 上